

<2020年度活動報告・2021年度活動計画>

展示委員会

メンバー: 小柳、遠藤、浅野、傳法、勝谷、
四方、野川、小森、菅原

2021年6月3日

委員長 小柳 諭

目次

1. 展示委員会の概要

1.1. 展示委員会の組織

1.2. 展示委員会の活動概要

1.3. 展示委員会の活動業務

2. 2020年度 活動報告

2.1. ITEM2020の実績

2.2. 核医学会併設展示会の実績

3. 2021年度 活動計画

3.1. 2021年度活動計画

3.2. 展示委員会の課題

1.1 展示委員会の組織

- 業務担当理事：山本 登（クライムメディカル(株)）～2021年5月
：飯田康子（(株)三田屋製作所）2021年6月～
- 委員長：小柳 諭（富士フィルムヘルスケア(株)）
- 副委員長：遠藤 裕（富士フィルムメディカル(株)）
：浅野 博史（(株)島津製作所）
- 委員：傳法昌幸（(株)根本杏林堂）
：勝谷拓実（シーメンスヘルスケア(株)）
：四方康（コニカミノルタジャパン(株)）
：野川明子((株)フィリップス・ジャパン）
：小森佳恵（キヤノンメディカルシステムズ(株)）
：菅原香（GEヘルスケア・ジャパン(株)）

1.2 展示委員会の活動概要

■ 役割と基本方針

展示委員会は、JIRAの中核である展示事業において、画像医療システム産業の外部環境変化に対応した業界の発展に貢献する展示会について、事務局と連携の上計画立案し、円滑な展示会運営を推進する

- 国際医用画像総合展、日本核医学会総会併設展示会の出展募集、企画、準備及び運営を行う
- 上記2展示会の出展要項の見直しを、展示規則及び展示運営細則、開催地ごとの展示会場に即して毎年行う

1.3 展示委員会の展示会における具体的な活動業務

■ ハイブリッド（REAL、WEB）展示計画対応

- 今後の展示会の効果向上を目的とした出展参加企業へのアンケート実施
- 展示開催年度に即した展示会運営マニュアル作成
- 展示会運営マニュアルの出展参加企業への周知（展示説明会実施、WEBでの告知）
- JIRA特定テーマプレゼン／展示など、新規施策の立案と決定
- 利便性向上を目的とした出展参加企業へのJRC/ITEM登録者情報の開示
- 利便性向上を目的としたリアルタイム入場者数集計システムを継続実施（REAL展示）
- WEB展示構成案の立案と決定
- WEB展示の効果向上を目的としたJRCオンライン学会との連携強化

■ REAL展示会運営対応（安全管理、コンプライアンス、他）

- 展示会場開催期間／搬入出のセキュリティ（盗難）管理、感染予防対策
- 災害を想定した避難訓練の実施（避難経路・避難誘導灯・避難誘導場所の告知）
- 出展社ブースの展示会運営マニュアルに遵守した展示施工と薬機法未承認品出展の確認

2.1 2020年度 活動実績 (ITEMパシフィコ横浜展示)



- 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、JRC,ITEMともにパシフィコ横浜開催が中止
- パシフィコ横浜展示開催に向け準備を進めていたが、JRC理事会判断により2020年2月にJRC、ITEMともにWEB開催となることが決定

2.1 2020年度 活動実績 (Web-ITEM2020)

■ Web-ITEM2020の実績概要

● 出展社数： 83社

① 出展社イチ押し展示（製品紹介）	動画または静止画PPT	197コンテンツ
② JIRA特定テーマ展示	静止画PPT	17コンテンツ
③ JIRA特定テーマプレゼン	動画または静止画PPT	18コンテンツ
④ 薬機法未承認展示（学会員のみ）	静止画PPT	17コンテンツ

● 入場者数： 11,353人（学会登録者；6,561人、ITEMのみ；4,792人）

[総括]

1. 出展社数・入場者数ともにパシフィコ横浜で開催した2019年度の実績に対し、およそ半減という結果になった
2. 出展企業への来場者情報の提供に同意頂けたのは、約50%に留まった
3. 開催後アンケート結果により、出展企業の多くは費用対効果が有効ではないと回答
WEB形式での展示会を開催する場合、出展企業のニーズに応える施策の強化が必要

【出展企業の主なニーズ】

- ・ 各社ブースへのアクセス履歴の情報提供
- ・ インターラクティブなコミュニケーション機能
- ・ Web-ITEMへのユーザーの誘導の強化
- ・ 製品・技術に関連するセミナーや動画配信
- ・ 検索や回遊がし易いWEBデザイン
- ・ 開催期間の厳守(システムトラブルの早期復旧)

2.1 2020年度 活動実績 (ITEM2021準備)



■ ITEM2021-REAL, WEB (ハイブリッド) 開催に向けた準備を実施

- 2020/7～10：ITEM2021展示実施要項を制作。合わせて、ITEM2020ポスターを制作
- 2020/10：小間抽選会実施に向けて出展社希望面積に合せた展示会場レイアウト制作
- 2019/11：展示実施要項説明会・小間割抽選会を実施
- 2019/12：WEB展示開催概要の決定
- 2020/2：WEB展示ブース構成内容の説明会を実施
- 2020/3：REAL展示開催に向けたコロナ感染対策施策の決定

2.2 2020年度 活動実績（核医学会併設展示会）



■ 併設展示会

会場：神戸国際展示場1号館

会期：2020年11/12（木）～11/14（土）

出展社：23社229㎡（昨年28社239㎡）、実機展示2社

- 学会はハイブリッド開催であったが、展示はREALのみ実施
- 展示会開催にあたり、展示会場内のコロナ感染防止対策を徹底（通路を広く設置、検温、手指消毒など）

3.1 2021年度 活動計画

■ 2021年度活動計画

2021年度の活動としては、国際医用画像総合展、日本核医学学術総会併設展示会における課題を解決し、出展社・来場者に対して各々が参加し易く、有効な展示会となることを目指して下記の施策を実行していく

- (1)学会併設展示会として、JIRAならではのコンテンツを設け、来場者に魅力ある展示会にする
- (2)コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守した展示会にする
- (3) 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める
- (4)学会登録者情報の参加企業への展開を継続化し、ITEM参加企業の増大を目指す
- (5)将来の為に他業種Web展示会のノウハウを取得する

3.1 2021年度 活動計画 (ITEM2021-REAL, WEB)

■ ITEM2021-REAL (実施済)

(1) 会期：2021年4/16 (金)～4/18 (日)

(2) 出展実績

- ・ 出展社数 : 132社 (対ITEM2019 ▲30社)
- ・ 出展面積 : 7,431㎡ (対ITEM2019 ▲1,547㎡)

(3) 実入場者数

- ・ 学会登録者 : 2,062 人 (対 ITEM2019(9,292 人) ▲77.5%)
- ・ ITEM 登録者 : 4,147 人 (対 ITEM2019(12,845 人) ▲68.3%)
- ・ 合計 : 6,209 人 (対 ITEM2019(22,137 人) ▲72.0%)



■ ITEM2021-WEB (実施済)

(1) 会期：2021年5月12日(水)～6月3日(木)

(2) 出展実績：出展社数：124社

(3) JIRA 特別企画

- ・ 特定テーマ：ニューノーマル時代の新たな価値提供 (出展 39 件)
[内訳：AI(10 件)、DX(6 件)、放射線管理(17 件)、その他(6 件)]
- ・ 学会プログラムと技術・製品リンクの連携：11 セッション 33 プログラム

3.1 2021年度 活動計画（核医学会、ITEM2022）

■ 核医学会併設展示（2021年11月4～6日：名古屋国際会議場）

- (1) REAL展示のみ、またはハイブリッド展示か展示形態決定
- (2) 核医学会併設展示実施要項制作
- (3) 社会情勢にあわせた新型コロナ感染対策の実施



■ ITEM2022（2022年4月14～17日：パシフィコ横浜）

- (1) ITEM2022出展社へアンケートを実施し、ITEM2022展示実施要項制作
- (2) ITEM2022ポスター制作
- (3) ITEM2022ハイブリッド開催の継続検討
- (4) JIRA特定テーマプレゼン／展示など、新規施策の立案と決定
- (5) 出展社希望面積に合せた展示会場レイアウト図制作
- (6) 展示実施要項説明会・小間割抽選会を実施

3.2 展示委員会の課題

JIRA が関わる国際医用画像総合展をはじめとする展示会の円滑な運営のために下記の課題解決を図り推進する

- ・ 来場者、出展社への利便性向上のために来場者情報の完全なデジタル化
- ・ 外部環境の変化に伴い、新たな展示会方法の企画検討
- ・ 画像医療システム産業の進化に合わせ、IT系企業や海外企業などに新たな情報を提供し、国際医用画像総合展への参画を募る
- ・ 企画立案を強化するための人材育成に注力する

JIRA

一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association